

# 「インターネットを活用した」音楽プログラムの配信活動に関するアンケート調査結果

2022年12月

特定非営利活動法人 OnPal



## 【1】アンケート調査概要

### 1. アンケート調査の目的

病院内の子ども達が音楽を学び、楽しむ環境について実態を調査し、NPO 法人 OnPal をはじめ、多くのボランティア団体が行う今後の支援活動に役立てるもの。

### 2. 調査対象

全国の病院に設置されている院内学級

### 3. 調査期間

2022年10月7日～12月6日

### 4. 回答方法

アンケート調査依頼文郵送後、OnPal ホームページ内「アンケート調査フォーム」からの入力回答

### 5. 回答者データ

発送数：256件

回答数：47件（回答率18.4%）

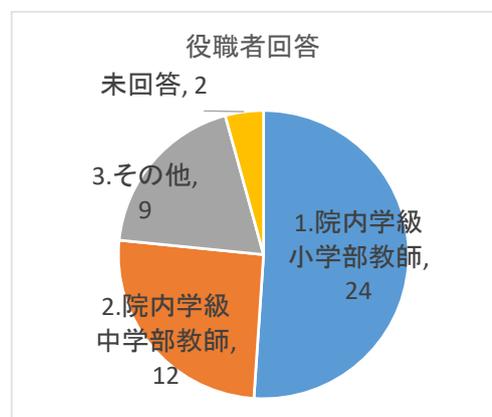
回答者役職：1. 院内学級小学部教師 24（51.1%）

2. 院内学級中学部教師 12（25.5%）

3. その他 9（19.1%）

- ・作業療法士主任
- ・施設内教育主任
- ・小中学部を1名で担当
- ・特別支援学校教諭訪問教育担当
- ・小学校教諭
- ・看護師長、看護師 など

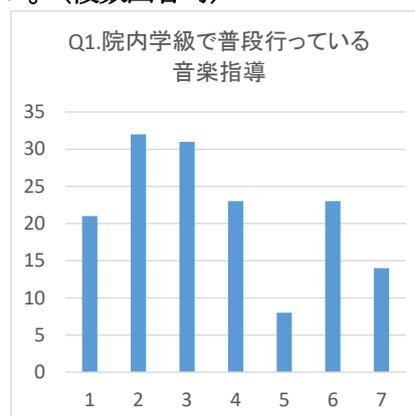
4. 未回答 2（4.2%）



## 【2】 一般的質問事項

Q1：院内学級で普段行っている音楽指導の主な内容をお答え下さい。（複数回答可）

回答区分	回答数
1. 一緒に歌うなどの歌の指導を行っている	21
2. 一緒に楽器を演奏するなどの器楽の指導を行っている	32
3. 教科書に載っている鑑賞曲を CD 等で聴いている	31
4. 教科書に載っていない曲なども聴いたり歌ったりしている	23
5. できるだけ教科書に載っている内容をすべて教えるようにしている	8
6. NHK などのテレビ番組やインターネット（YouTube 等）の動画を見せることがある	23
7. その他自由回答	14



### 「7. その他自由回答」の主な内容

#### 【手法的要素】

- ・ 病院内にあるグランドピアノを入院患者に利用してもらい、活動の時間に好きな曲を演奏してもらっている。また、活動室にアコースティックギターや電子ドラムを設置し、興味がある子どもたちが弾けるようにしている。
- ・ 在籍は現在、重度重複障害の児童1名で、ベッドサイドで学習している。視力はなく、一緒に楽器を鳴らしたり音や曲を聴いたり手遊び歌をしたりしている。短期入院（通級指導・教育相談）では、授業時間数が限られているため、音楽の授業を計画的には実施していない。
- ・ 1に関しては、子どもは歌えないが教師が歌う。歌詞の説明もする。3, 5に関してはかつて取り組んでいた。

#### 【機会的要素】

- ・ 本校より音楽教師が院内学級に来て、1年から3年まで共通の内容で学習している。
- ・ 時間割に位置付けられているわけではないので、学期に2~3回程度と時間数は少ない。
- ・ 七夕会、クリスマス会の出し物で、器楽合奏やハンドベルなどの演奏をするため練習している。
- ・ 週3回6時間の授業なので、特に教科学習の児童生徒は、国語算数を主とし、音楽はお楽しみとしてふれる程度。自立活動を主とする児童生徒は、音楽的な内容を取り組んでいる。
- ・ コロナの状況では、歌うことが制限されていた。

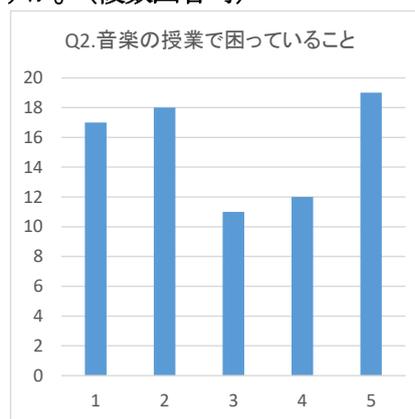
#### 【その他】

- ・ 基本はしていない。必要な場合は、CD等、YouTubeで見せる。
- ・ 以前は音楽の教師が来てくれていたが、現在来ないので学習していない。

※上記以外にも音楽の授業は（ほとんど）していない（できていない）という回答が4件あった。

**Q2：子ども達に音楽の授業を教えていて困っていることはありますか。（複数回答可）**

回答区分	回答数
1. 院内学級は学年が違う子どもと一緒に教えるので指導が難しい	17
2. 歌や演奏を聴かせたいとき院内学級は教材が不足しており体験学習が難しい	18
3. 歌や演奏についてインターネットで教材を探すことが多い	11
4. 自分自身が音楽のことがよくわからないので教えるのに苦労する	12
5. その他自由回答	19



**「5. その他自由回答」の主な内容**

**【時間や環境的な制約】**

- ・ 入院病棟に Wi-Fi 環境がない
- ・ 大きな楽器に直接触れる機会がない
- ・ 以前、ある物品で先生方は工夫されていた。
- ・ 長期入院の子どもが少なく、合奏などの活動を行いにくい。
- ・ 治療の関係で病棟内の面談室での授業が多く、音を出す活動がしにくい。
- ・ NICU 内で授業を行っているため、音量に配慮をしたり、インターネットの使用はしないようにしたりしている。
- ・ 病室には数人の子どもが入院しているので、大きな音を出すことが難しい。
- ・ 時間が限られている。
- ・ 限られた時間の中で何を最低限経験すべきか迷うことがある。
- ・ リモートで双方向の授業を行うとタイムラグがあつて音がずれるため、一緒に合奏や合唱を行うことが難しい。
- ・ 中学校は、合唱コンクールの練習のためパート練習をするが、学級ごとに選曲が違うので、1台のパソコンではなかなか十分練習できない。

**【感染症対策関連】**

- ・ コロナで教師が楽器を吹いて指導することができない。
- ・ 感染症対策によりマスクを外すことができないため、リコーダーや鍵盤ハーモニカはできない。また、時間的にもあまり多くできないので、取り組みにくい。
- ・ コロナで教師が楽器を吹いて指導することができない。
- ・ 病院内のコロナ感染対策に準じて学習対応しており、飛沫感染をさけるため歌唱やリコーダー演奏などはしていない。
- ・ コロナ禍のため、音楽の授業に取り組むことそのものが少ない。時間・場所・人数に制限もかかっている。

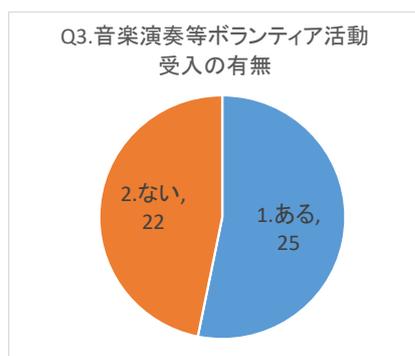
**【その他】**

- ・ キーボードや木琴などを自由に使わせることはあるが指導はしていない。

※上記の他、「音楽の授業はしていない」「困ることはない」という回答が4件あった。

**Q3：病院や院内学級で音楽演奏等のボランティア活動等を受け入れたことがありますか。**

回答区分	回答数	割合
1. ある	25	53.2%
2. ない	22	46.8%

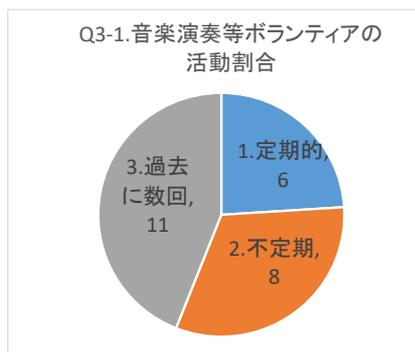


**Q3-1：Q3で「1. ある」と答えた方に伺います。その活動は定期的に行われている活動ですか。**

回答区分	回答数	割合
1. 定期的	6	24.0%
2. 不定期	8	32.0%
3. 過去に数回	11	44.0%

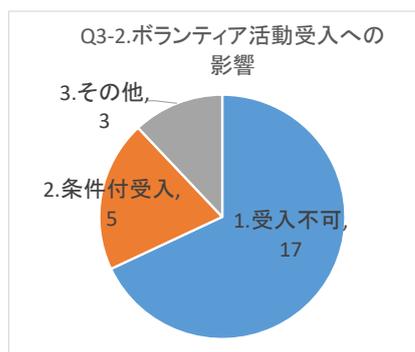
定期的な活動団体名

- ・ 小学校校長によるバイオリン演奏
- ・ 医学部混声合唱団
- ・ マーガレット一家
- ・ 合唱団や近くの大学生による劇や音楽演奏
- ・ キッズアート
- ・ OnPal
- ・ 年1回音楽会でのバイオリン演奏



**Q3-2：Q3で「1. ある」と答えた方に伺います。コロナ感染症の流行によってボランティア活動の受け入れに影響はありましたか。**

回答区分	回答数	割合
1. 受け入れができなくなった	17	24.0%
2. 条件付きで受け入れを続けている	5	32.0%
3. その他	3	44.0%

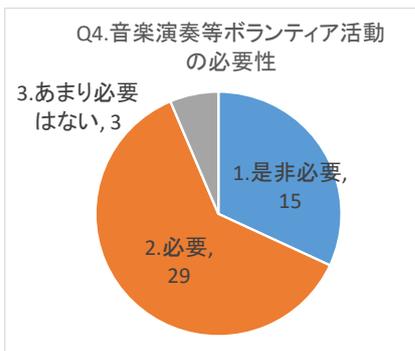


### 「3. その他」の内容

- ・ 難しいが、受付で許可を取って教室への入室は一人にするなど、全くできないわけではない。
- ・ 小学校の校長や本校の音楽教諭などのみ可能。それ以外の外部演奏者などは一切受け入れていない。
- ・ 元気のまどを利用してリモートで行う時もある。今年度は対面で行った。1年に紙芝居も含めて4回。

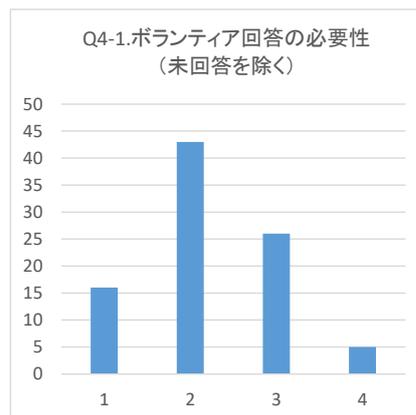
**Q4：病院や院内学級で音楽演奏等のボランティア活動等は必要と思いますか。**

回答区分	回答数	割合
1. 是非必要	15	31.9%
2. 必要	29	61.7%
3. あまり必要はない	3	6.4%



Q4-1: Q4で「1. 是非必要」または「2. 必要」と答えた方に伺います。音楽演奏等のボランティア活動等はなぜ必要ですか。(複数回答可)

回答区分	回答数
1. 子ども達の学習意欲を高めることができるから	16
2. 子ども達に楽しみの機会が必要だから	43
3. 子ども達の治療に良い効果があると思うから	26
4. その他	5
(未回答)	2

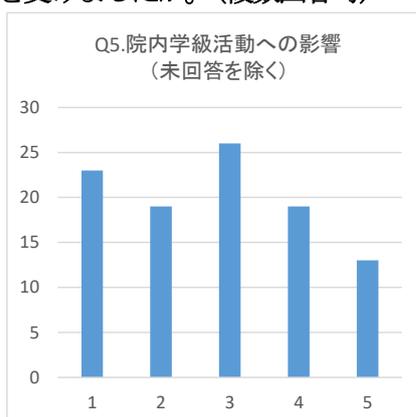


#### 「4. その他」の内容

- ・ 生のよい演奏を聴いたり体験したりすることは、生きる意欲や治療を受けようとする気持ちを高めると考えるから。
- ・ 体験的な活動が不足しがちな院内学級において（子どもによっては生まれた時から今日まで）、対面で生演奏に触れられる貴重な機会だから。
- ・ 病室にこもっている子供たちにとって、とても気分転換になり、気持ちも穏やかになる。新型コロナウイルスの影響がなければ頻繁に音楽演奏のボランティアを受け入れたいが、今はまだ無理。
- ・ 音楽演奏に親しんだり興味をもったりするきっかけになったらいいと思うから。
- ・ ストレスが高い保護者にも必要だと思う。

Q5: コロナ感染症の流行によって院内学級の活動はどのような影響を受けましたか。(複数回答可)

回答区分	回答数
1. 院内学級が一時的に閉鎖された	23
2. 全員一緒に授業を受けることができなくなった	19
3. 外部講師などを招くことができなくなった	26
4. オンライン授業を行うようになった	19
5. その他	13
(未回答)	2



#### 「5. その他」の主な内容

##### 【院内学級活動関連】

- ・ 何度か休業期間があった。
- ・ 複数指導の制限。
- ・ 調理や会食が一切できなくなった。
- ・ 病院外に出かける、博物館や美術館での学習が一切なくなった。その代替えとして、博物館や水族館と接続しリモートで学習を行っている。
- ・ 余暇活動に制限が出た。例えば、近場での遠足や、夏休みの工作会、調理活動に制限が出た。そのため、子どもの楽しみが減ってしまった。
- ・ 学校でコロナの感染が広がったときは、数日、病院への立ち入りを遠慮した。
- ・ 子どもたち同士の距離が決められている（なかよく集まってはできない）
- ・ リコーダーなどの楽器が指導できなくなったり、パーテーション等が必要となったりした。

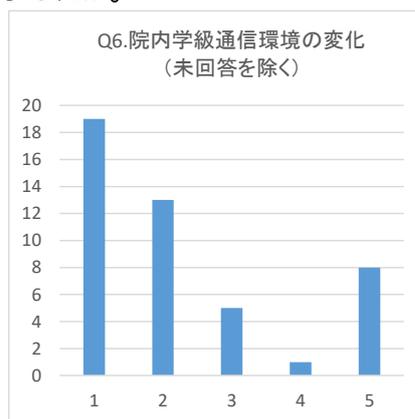
##### 【その他】

- ・ 担任自身の健康状態に、より一層の注意をはらっている。
- ・ つきそいなし一人入院増。
- ・ 入院児童が極端に減った。

※上記の他、「特に変わらない」「影響は出ていない」という回答が4件あった。

**Q6：コロナ感染症の流行によって院内学級の通信環境はどうになりましたか。**

回答区分	回答数
1. コロナ以前から有線通信と無線通信 (Wi-Fi) の環境が整っていた	19
2. コロナ対策として有線通信に加えて無線通信 (Wi-Fi) の環境が整った	13
3. コロナ対策として有線通信ができるようになった。(以前からできていたを含む)	5
4. 現在もインターネット接続はできない	1
5. その他	8
(未回答)	1



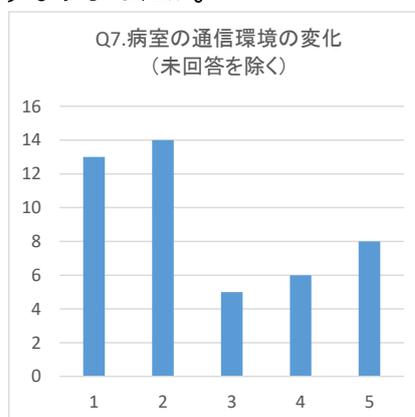
**「5. その他」の主な内容**

- ・ つながるが、速度が遅い。
- ・ 現在、無線通信に整いつつある。有線通信はできている。
- ・ 以前から、聖マリアンナ医科大学病院が、有線通信と Wi-Fi を提供してくれている。
- ・ 学級には以前から有線通信があり、コロナ対策とは別に学級で使うクロームブックは病院の Wi-Fi を使えるように病院側に設定してもらっている。
- ・ コロナに関係なく、予定されていたタイミングで Wi-Fi が使えるようになった。有線はもともと使用していた。
- ・ 治療上必要な方にはインターネット経由で音楽やダンスの動画などを見てもらうこともあるが、基本的には入院治療の中では携帯電話・スマートフォンを預かっていて、日常的にはインターネットに触れることはない。

※上記の他、「閉校している」「インターネットを使っていない」という回答があった。

**Q7：コロナ感染症の流行によって子ども達の病室の通信環境はどうになりましたか。**

回答区分	回答数
1. コロナ以前から無線通信 (Wi-Fi) の環境が整っていた	13
2. コロナ後に無線通信 (Wi-Fi) の環境が整った	14
3. 現在も有線通信のみで無線通信 (Wi-Fi) は接続されていない	5
4. 有線通信、無線通信 (Wi-Fi) いずれも接続されていない	6
5. その他	8
(未回答)	1



**「5. その他」の主な内容**

- ・ つながるが、遅い。
- ・ タブレットや携帯は使わせない。
- ・ 病室で使える Wi-Fi の環境は不安定で、使える時と使えない時がある。また、ほとんどの病室で使えない。子どもは、保護者が個人契約した Wi-Fi を使っている。
- ・ コロナ対策ではないが、昨年 10 月から病院が患者さん向け Wi-Fi サービスを行うようになり、子どもたちも病室や学級でそれを利用することができるようになった。
- ・ コロナに関係なく、予定されていたタイミングで Wi-Fi が使えるようになった。
- ・ 病室では病院の Wi-Fi があるが、なかなか繋がらない時間帯がある。

総合教育センターの指導主事からギガスクール構想の1人1台配当されたタブレット型端末で病院のWi-Fiを繋げてはいけないという指導を受けた。

病院内に教育委員会からWi-Fiを設置することはできないか問い合わせているが、1つの学校と同様の費用がかかるためにできないと言われた。そのため、現在はポケットWi-Fiルーターを10台ほど使用している。

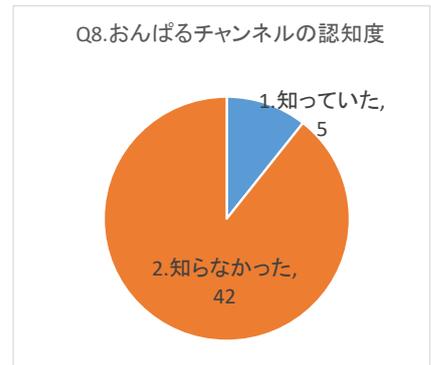
- ・ [3.の回答者] 無線通信は、有料で利用できる。
- ・ [4.の回答者] 訪問用にWi-Fi無しでも使用できるタブレットが2台準備された。

※上記の他、「閉校している」「把握していない」という回答があった。

### 【3】おんぱるチャンネルに関する質問事項

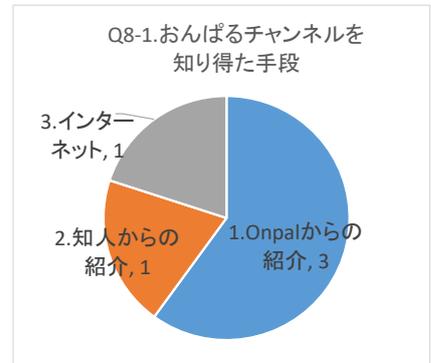
Q8：あなたは「おんぱるチャンネル」を知っていましたか。

回答区分	回答数	割合
1. 知っていた	5	11.9%
2. 知らなかった	42	88.1%



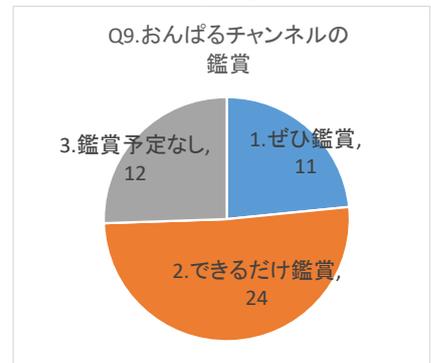
Q8-1：Q8で「1. 知っていた」と答えた方に伺います。「おんぱるチャンネル」をどのようにして知りましたか。

回答区分	回答数	割合
1. OnPalからの紹介で知った	3	60.0%
2. 知り合いからの情報で知った	1	20.0%
3. インターネットで偶然見つけた	1	20.0%
4. その他	0	—



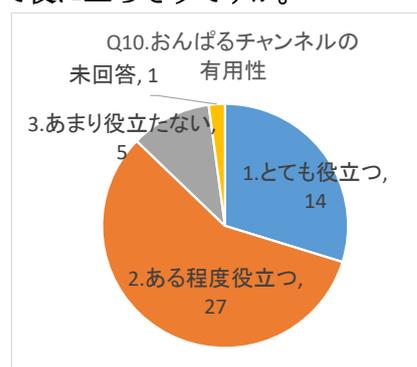
Q9：あなたは今後、子ども達に「おんぱるチャンネル」を鑑賞させたいと思いますか。

回答区分	回答数	割合
1. ぜひ鑑賞させたい	11	23.4%
2. できるだけ鑑賞させたい	24	51.1%
3. 鑑賞させる予定はない	12	25.5%



Q10:「おんぱるチャンネル」の音楽授業は、院内学級の授業として役に立ちそうですか。

回答区分	回答数	割合
1. とても役に立つと思う	14	29.8%
2. ある程度役に立つと思う	27	57.4%
3. あまり役に立たない (未回答)	5 1	10.6% 2.1%



### 「自由回答 (理由)」の主な内容

#### 【「1. とても役立つ」と答えた人】

- ・教科書に載っている曲を扱っているから。
- ・普段馴染みのない楽器にチャレンジできそう。
- ・演奏家の方々のお話や演奏を聴ける機会が貴重だから。
- ・今年度は鑑賞の予定はないが、来年度の予定として考えてみたい。
- ・季節などテーマに合わせた音楽を聴くことができる。質のよい演奏であり選曲もよい。
- ・その学級の子に向けて、行ってくれるのがよい。子どもたちが主体的に観れると思う。

#### 【「2. ある程度役立つ」と答えた人】

- ・子供たちの実態に合わせて、鑑賞ができるかと思う。
- ・教室に来ることができる体調の児童生徒の楽しみの一つになれば良いと思う。
- ・教科書の曲を扱っている点や、季節の行事に合わせて動画配信されている点。
- ・子どもによると思う。喜ぶ子どもが多いと思うが、年齢や好みもあると思う。
- ・音楽鑑賞教室などに行けないので、本物との触れ合いができるチャンスだと思う。
- ・習う曲や鑑賞曲は CD を使っているが、実際に画面で歌っているところを見れるのは聞くだけより効果があると思う。
- ・1 コマが長い、5 分程度であればもっと活用できる。
- ・教科書の内容の歌がありがたかった。各学年各時間にねらいがあるので、他の音楽授業動画を参考にするときは、動画を見ながら、ねらいにそった解説が入って、練習の仕方の見本が入ったものなどを、合わせて見るようにしている。各教科書/会社/月ごとに指導計画が作成してあるので、月ごと学年ごとの動画あるとありがたい。
- ・病気の子どもたちに、音楽や絵、工作などが楽しみの一つとなる。本学級は「病弱学級」でもあるので、心の安定や治療へ向かう気持ちなども育てる場になっているため。

#### 【「3. あまり役に立たない」と答えた人】

- ・音楽の授業内容や目的に合っていれば役に立つと思うが、音楽配信は子どもたちが動画に見慣れていて、生での音楽鑑賞とは違って飽きてしまうことも多いから。

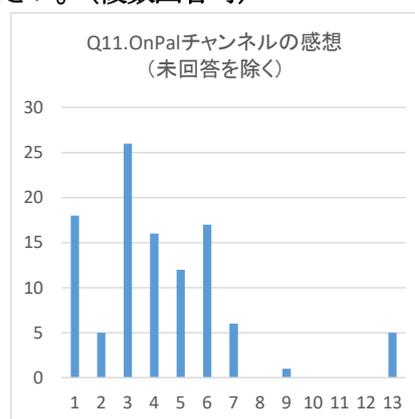
※上記の他、「音楽の授業がない」という回答が3件あった。

#### 【「未回答」の人】

- ・現在の本校の院内学級では、(児童生徒の実態や授業の形態から) 即利用させていただく予定はない。

Q11:「おんぱるチャンネル」をご覧いただいた感想をお答えください。(複数回答可)

回答区分	回答数
1. 面白かった (楽しかった)	18
2. 嬉しかった (感動した)	5
3. 音楽や楽器のことに知ることができた	26
4. 子ども達のことを良く考えて作られていると思った	16
5. とても分かりやすい授業だと思った	12
6. 授業で活用したいと思った	17
7. 子ども達に見るように勧めたいと思った	6
8. つまらなかった (あまり面白くないと思った)	0
9. 子ども達にはあまり面白くない (難しい・あきるなど) と思った	1
10. 内容に工夫が足りないと思った	0
11. 画質や音質が良くないと思った	0
12. 映像や編集の技術レベルが低いと思った	0
13. その他自由回答	5
(未回答)	5



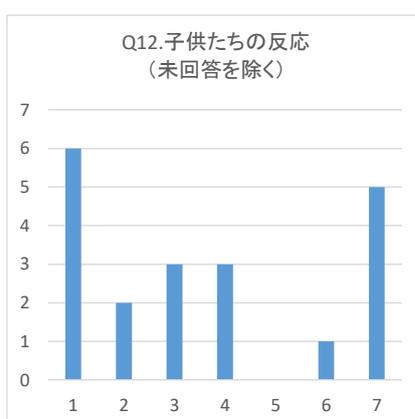
### 「13. その他自由回答」の内容

- ・七夕コンサートやクリスマスコンサートを行っているが、演奏会で使えるような演出や装飾があり参考になった。
- ・毎回、動画楽しいです。ハロウィンの動画は、画像編集や衣装も工夫されていて、内容の濃い作品でした。子どもたちと楽しんで拝見させていただきました。ドレスなど非日常的な華やかな衣装を子どもたちがとても喜びます。非日常感を映像と音楽で感じさせていただき、ありがとうございます。スタッフの皆様の笑顔や、明るい声もとても嬉しいです。病院の中の暗い病室で一人で見ている子にとっても、明るい華やかな音楽・美しい音楽や映像は、心の栄養になっていると感じます。本当にありがとうございます。

※上記の他、「見ていない」という回答が4件あった。

Q12: 子ども達に見せていただいた方は、子ども達の反応 (子どもの感想) をお聞かせください。(複数回答可)

回答区分	回答数
1. 面白かった (楽しかった) と喜んでいた	6
2. 嬉しかった (感動した) と話していた	2
3. 楽器に関心を示していた (珍しい楽器に驚いていた)	3
4. 映像を見ながら子ども達が楽しそうに会話をしていた	3
5. あまり面白くなさそうだった	0
6. 途中で飽きてしまっていた	1
7. その他自由回答	5
(未回答)	34

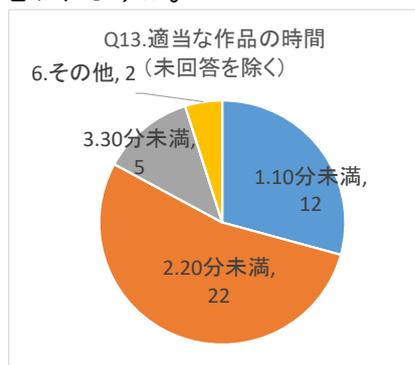


### 「7. その他自由回答」の内容

※その他はすべて「見せていない」「見せることができなかった」という回答であった。

Q13:「おんぱるチャンネル」の作品の長さほどのくらいが適当と思われませんか。

回答区分	回答数	割合
1. 10分未満	12	25.5%
2. 20分未満	22	46.8%
3. 30分未満	5	10.6%
4. 40分未満	0	—
5. 40分以上	0	—
6. その他自由回答 (未回答)	2 6	4.3% 12.8%

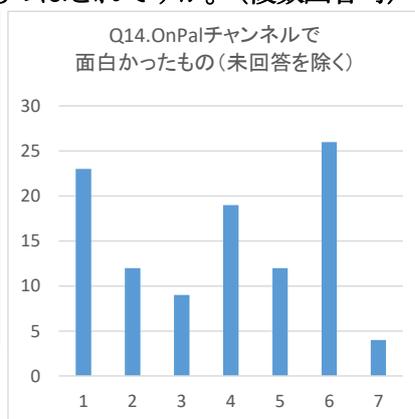


「6. その他自由回答」の内容 ※「見ていない」を除く

- ・ 普段の作品は10分程度でいいと思うが、行事やコンサートは20分程度がいいと思う。

Q14:「おんぱるチャンネル」の音楽授業を見て面白かったものはどれですか。(複数回答可)

回答区分	回答数
1. 楽器クイズ	23
2. 楽器の音を出す体験	12
3. 楽器の詳しい説明	9
4. 教科書に出てくる歌の演奏	19
5. 教科書に出てくる歌の説明	12
6. プロの演奏家の歌や演奏	26
7. その他	4

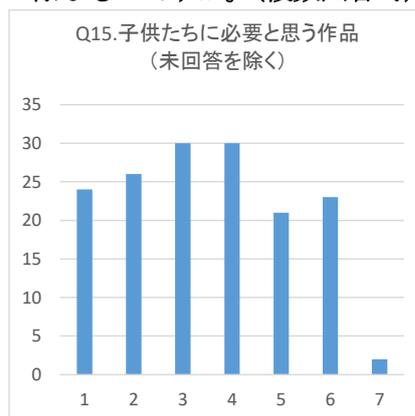


「7. その他」の内容 ※「見ていない」を除く

- ・ 手遊び指遊び。寝たきりの子どもや車椅子の子ども、激しい運動ができない子どもなど、様々な身体的制限のある子どもが体で音楽を楽しめるような活動だから。
- ・ 花火大会

Q15:子ども達に必要(子ども達が喜ぶ)と思う内容(作品)はどの様なものですか。(複数回答可)

回答区分	回答数
1. 音楽の教科書に載っている曲目・歌などの演奏や紹介	24
2. 色々な楽器の紹介	26
3. こどもの日やクリスマスなど季節ごとのコンサート	30
4. みんなで一緒にリズムなどを楽しめる曲	30
5. ディズニーやジブリなどのアニメソング	21
6. 今流行している歌など	23
7. その他自由回答 (未回答)	2 5

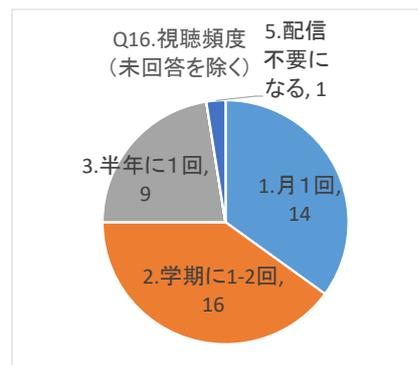


「7. その他自由回答」の内容 ※「見ていない」を除く

- ・ 入学式、卒業式 始業式、終業式 学年集会、お別れ会、誕生会 など、節目、節目で取り組める合唱や合奏。  
院内学級は1~6年生がいるので、異学年で楽しめる音楽。

Q16：アフターコロナになっても引き続き「おんぱるチャンネル」を配信するとすれば、どのくらいの頻度で視聴（利用）したいと思いますか。

回答区分	回答数	割合
1. 月1回程度	14	29.8%
2. 毎学期ごとに1～2回程度	16	34.0%
3. 半年に1回程度	9	19.1%
4. 1年に1回程度	0	—
5. アフターコロナでは配信の必要はなくなる (未回答)	1 7	2.1% 14.9%



Q17：「おんぱるチャンネル」で取り上げてほしい題材や内容について自由にお答えください。

- ・ 世界の国々の音楽（国ごと）。
- ・ 子どもが喜ぶようなオペレッタ。
- ・ 教科書にのっている歌や鑑賞曲
- ・ 季節の歌、踊り、わらべうた、英語の歌、リズム遊びなど
- ・ 院内学級の視点からすると、授業に役立つものがよい。鑑賞での楽器や曲想の説明や作曲家のプロフィールとか教科書では不十分なところを補ってもらえるような内容がよい。
- ・ リコーダー演奏や音づくり。
- ・ 鍵盤ハーモニカやリコーダーが上達すると、どんな音色で吹けるのか、どんな曲が吹けるのか。アニメソングなどで実演していただくと、子どもたちの練習意欲も高まるかとも思います。
- ・ ハンドベルや音階パイプなど、一人1～2音を担当して奏でる合奏。音楽療法、体を使って味わう音楽活動。寝たきりの重症心身障害の子どもにも味わえるようなマッサージや運動に合う音楽活動。
- ・ オーケストラの楽器紹介、和楽器の紹介など。
- ・ 子どもが楽しめる内容。
- ・ 私は音楽に携わってきたので、指導に困ることはありませんが、音楽が苦手な先生が担当になった時にはとても有効だと思います。

教科書準拠のCDもDVDもありますので、教科書以外で、私たちがあまり知らない（例えばアニメ、芸能人）の曲などを使うと子供たちはとても喜びます。

最近では、音楽の要素として楽典的な内容も指導しなければなりません、週1.5時間の音楽科ですので、入院中に音楽の授業がどれだけできるかという、かなり難しいです。

（保護者は国社算理英を希望しますので）院内学級という特殊性から、あまり「指導」と考えずに「音楽が好き、楽しい」と思ってもらえるようにしています。

高学年を担当していた時に、エーデルワイスやドレミの歌の英語に取り組んだのですが、子供たちはとても喜んでいました。世界に一つだけの花の手話も興味を持っていました。

また、山梨県では、「創作力くらべ」という作曲のコンクールを行っています。

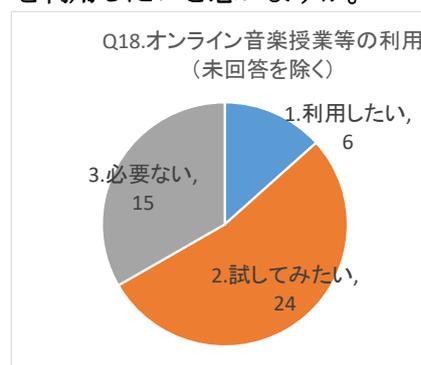
（小5～中3）簡単な作曲なども面白いかもしれません。

最近の子どもたちはスマホやタブレットを個人持ちしています。そういった機器を使って遊べるようなものがあると、楽しいかもしれません。

#### 【4】オンライン配信などインターネットの活用に関する質問事項

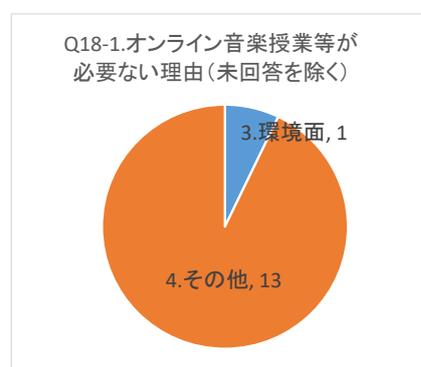
Q18：あなたはZOOMによるオンラインの音楽授業やコンサートを利用したいと思いますか。

回答区分	回答数	割合
1. 是非利用したい	6	12.8%
2. 試してみたい	24	51.1%
3. あまり必要ない	15	31.9%
(未回答)	2	4.3%



Q18-1：Q18で「3. あまり必要ない」と答えた方に伺います。なぜ必要ないとお考えになりましたか。

回答区分	回答数	割合
1. あまり役には立たないと思う	0	—
2. どのような内容か分からない	0	—
3. ZOOMを受信する環境が整っていない	1	6.7%
4. その他	13	86.7%
(未回答)	1	6.7%



#### 「4. その他」の主な内容

- ・ 個人情報保護の観点から。
- ・ 児童生徒の実態と学級の実情から。
- ・ 可能な限り対面で音楽に触れる体験をしてもらいたいと思うため。
- ・ 授業時数が不足しているため、たまに利用することはできるが、定期的になると難しい。
- ・ 子どもたちの体調により急な予定変更も多く、事前にオンラインの授業計画がたてにくいため。
- ・ 児童の実態や人数がその時々で変化していて、配信内容と実態を合わせる設定が難しい面があるため。
- ・ オンライン授業やコンサートが苦手、疲れてしまう子が一定数いて、あまり積極的に企画する必要がないと感じた。
- ・ 入院期間が短く、その部分にあまり時間をかけることができないため。
- ・ 入院している子どもがいる時期、期間に合わせて、計画、準備、実施が難しいため。
- ・ この教室では七夕やクリスマスのイベントをしてきたそうです。(すみません、わたしは今年着任しました)しかし、入院児童のほとんどが「ベッドサイド学習」となり、保護者や他の患者との接触が禁止されています。本学級ではベッドサイド学習は1日2時間ときめられており実際に活動することが難しい状況です。

※上記の他「時間がない」「音楽の授業の予定がない」などの回答が4件あった。

**Q19**：退院後や自宅療養中の子ども達のサポートの必要性について、議論する機会が多くなってきました。そこで伺います。「おんぱるチャンネル」や「ZOOM によるオンラインの音楽授業やコンサート」をこの子ども達に配信することについてどう思われますか。

回答区分	回答数	割合
1. とても良い (喜ばれる) ことだと思う	13	27.6%
2. 良いことだと思うが利用されるかどうかはわからない。	31	66.0%
3. あまり興味は示されないと思う	0	—
4. その他 (未回答)	1 2	2.1% 4.3%

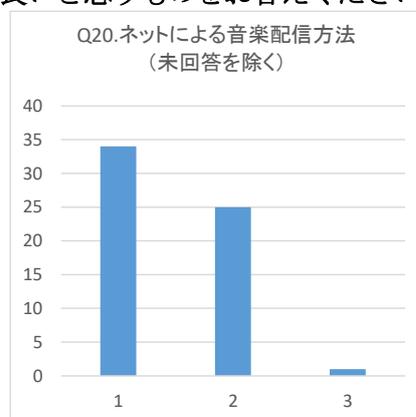


#### 「4. その他」の内容

- それぞれの実情と、配信の内容によるかと思う。

**Q20**：インターネットを使った音楽配信の方法についてあったら良いと思うものをお答えください。(複数回答可)

回答区分	回答数
1. 「おんぱるチャンネル」など YouTube による配信	34
2. 双方向のコミュニケーションが可能なオンライン配信	25
3. その他自由回答 (未回答)	1 3



#### 「3. その他自由回答」の内容

- 分からない。
- [1.の回答者] 質問や要望などを吸い上げていただけるツールを整えていただけるとさらに良いと思う。
- [2.の回答者] 一方の配信型授業は多く入手できるが、病気の子どもたちにとって不足している。双方向の学習こそが必要だと思われる。

**Q21**：「おんぱるチャンネル」やオンライン配信など、インターネットを活用した音楽プログラムの配信についてのご意見やアイデアを自由にお答えください。

- 同時双方向通信の場合、音質が心配だが、高性能のマイクなどが必要なのでしょうか…
- 直接体験が難しい入院期間中に芸術体験、音楽を専門家から学べる機会があることはとてもありがたい。好きな音楽・興味分野を広げるきっかけのひとつになることにもつながるのではないかと思います。また、数多くいる音楽家の皆様の力を生かすこともでき、二重に貴重だと思う。
- 教師が関わらなくても個人個人で音楽に触れられるプログラムが良いと思う。教師には時間的に余裕がないのが現状。
- 退院しても学校に通えない子どもがたくさんいます。退院と同時に地元の学校に籍を戻すが、コロナで登校できずに何か月もオンライン授業を受けている。そのような子どもは音楽の活動を楽しむこともできない。そのような子どもに、音楽の楽しさを味わわせてあげたい。ただ、学籍を移すということは院内学級の子どもではなくなるということで、院内学級の担任が世話をすることはできない。地元校へどのように声掛けするのが課題だと思う。

院内学級に関しては、本校で音楽鑑賞会があったとしても参加できない。いろいろな楽器の音や音楽に触れさせるためにも、このような入院している子どもを意識した活動は有難いと思う。音楽鑑賞会のかわりになるようなものがあればいいと思う。

- ・ zoomなどで、合唱ができるといいですね。
  - ・ 気軽に利用できるので、今のままの配信でよいと思う。
  - ・ 単なる配信だと E テレや YouTube など、より魅力的な題材が他にもあるので、双方向のコミュニケーションが可能なオンライン配信など独自性が必要
  - ・ 花火大会の実践は興味深かった。
  - ・ 専門家の演奏を聴く機会はめったにないので、子どもたちにとっても良い経験になると思う。良い音響（スピーカー?）で聞かせてあげたいと思った。（今のところ学校にはないが）
  - ・ 3月に定年退職し今年初めてここに着任した。どういう指導がいいのか、何が必要なかを勉強中。今回の便りで、はじめてこういう音楽プログラムがあることを知った。ありがとうございました。
- 本学級は、ネット環境や指導内容については市教育委員会の管轄になっている。また、個人情報の守秘義務などのかだいもあり、双方向のものは実施が難しいのが現実。

**Q22 : その他、NPO 法人などが行う支援活動についてのご意見を自由にお答えください。**

- ・ このような支援活動のおかげで救われている方々がたくさんいると思う。
- ・ メールアドレスは知らせられないので、YouTube でちょこちょこ確認させていただこうと思う
- ・ 病院という区切られた環境の中でも、いろんな体験ができ、人と繋がれる体験は子ども達に必要なことだと思う。費用がかかると院内学級の参加は厳しいが、無料で参加できる体験だとありがたい。
- ・ コロナ禍における支援活動は難しいと思うが、本物に触れる機会を設けていただけるのはありがたい。子どもたちも喜ぶと思う。
- ・ 問 19 の設問内にある「退院後や自宅療養中の子どもたちへのサポートの必要性が議論される機会が多くなってきました。」という文面に、嬉しくなった。まだまだ、自宅療養期間の子どもたちに対して学習保証がされるような法整備がなされていないと思う。
- ・ 生の演奏や触れ合いが大切なことと思う。コロナ前は毎月のように様々な方々が支援してくださり、大変ありがたかった。
- ・ とてもありがたい。皆さんの演奏もとても素敵だった。
- ・ 配信自体はとても有難いことだと思う。本学級のような小さい院内学級では人数等が不確定で小児科病棟にいる幼児も含めて考えていくなど、実施にはいろいろと工夫が必要なのだが、その連携がまだ十分にできていない面もある。病院に受け入れられていく大変さがあると思うが、今後も支援活動を頑張っていってください。
- ・ いろいろな立場からの支援活動は、子どもにとってよい経験になると思う。

**Q23 : 最後にお尋ねします。今後、ご希望される院内学級には「おんぱるチャンネル」の新作をアップロードした時や、オンライン授業の配信などについてご連絡したいと考えています。**

**OnPal からの連絡を希望されますか。**

回答区分	回答数	割合
1. 連絡してほしい	25	53.2%
2. 必要ない	21	44.7%
(未回答)	1	2.1%

